



ネットワークカメラ

ファームウェアアップグレードツール

使用説明書

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 運用した結果の影響につきましては、2 項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

日本語

目次

1. 概 要	3
1.1. はじめに	3
2. ファームウェアアップグレードツール操作手順	5
2.1. 起動	5
2.2. カメラの指定方法	5
2.3. [カメラ情報入力画面] から1台ずつカメラ情報を入力し実行する方法	5
2.4. 「カメラ指定ファイル」からカメラ情報を読み込み実行する方法	7
2.5. カメラ情報の削除	11
2.6. ログの表示と保存	12
2.7. ファームアップツールのバージョン情報	12
3. メッセージ一覧	13
3.1. メッセージ一覧	13
3.2. エラーメッセージ	13

1. 概 要

1.1. はじめに



この使用説明書は、キヤノンネットワークカメラのファームウェアを更新するファームウェアアップグレードツール (以降、ファームアップツール) の操作方法について説明しています。
ファームアップの処理は、最大30台のカメラを一括して行うことができます。

商標について

- CanonおよびCanonロゴはキヤノン株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Internet ExplorerおよびExcelは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- その他、本書に記載された商品名、社名などは各社の商標または登録商標です。


重 要

- 本ツールの多重起動はできません。旧バージョンとの共存は可能ですが動作保証の対象外です。
- ファームアップの処理中にケーブルを抜いたり、カメラの電源を切ったりしないでください。カメラの故障の原因になります。
- ファームアップの処理中に停電事故が起きるなど、ファームアップを正常に終了できなかった場合、カメラのファームウェアが破壊されてしまう可能性があります。
停電障害復旧後もカメラにアクセスできない場合は、販売店にご連絡ください。
- ネットワークで接続された複数のPC上で、ファームアップツールを同時に使用しないでください。カメラの故障の原因になります。
- Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows Server 2008またはWindows Server 2012をお使いの場合は、ファームアップツールの実行ファイル「NetworkCameraFWUP.exe」を「C:¥Windows」や「C:¥Program Files」に入れて使用しないでください。ログファイルが正常に保存されない場合があります。
- ファームアップツールを使用する際は、他のアプリケーションをすべて終了してください。また、カメラへの接続がない状況 (カメラに内蔵されているビューワーやVK-64/VK-16ビューワー、RM-Liteビューワーなど) でご使用ください。
- 編集・加工されたファームウェアファイルを本ツールで使用しないでください。
- Windows Vista以降のオペレーティングシステムに搭載されている新文字コード (第三水準漢字など) には対応していません。
- フォントサイズを [特大フォント]、[大きいフォント] に設定すると、ウィンドウタイトルが文字切れする場合があります。
- イン트라ネットなどの安定したネットワーク環境でご使用ください。
- SSL暗号通信には対応していません。
- プロキシサーバーを経由したファームアップ操作には対応していません。
- ファームアップを実行しても、カメラの設定値は変更されません。
- Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows Server 2008、Windows Server 2012環境では、[参照]ボタンをクリックして開いたファイル選択ダイアログで存在しないドライブを指定すると、システムメッセージが表示される場合があります。

アイコン	意 味
 重 要	<p>操作時の注意事項や制約事項が書かれています。必ずお読みください。</p>
 メ モ	<p>操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。</p>

2. ファームウェアアップグレードツール操作手順

2.1. 起動

アプリケーションの実行ファイル「NetworkCameraFWUP.exe」 をダブルクリックしファームアップツールを起動します。

本ツールの初回起動時のみ使用許諾契約書が表示されます。(本ツールをバージョンアップした際にも、初回起動時のみ使用許諾契約書が表示されます。)

使用許諾に同意していただいた後、カメラ情報入力画面が表示されます。

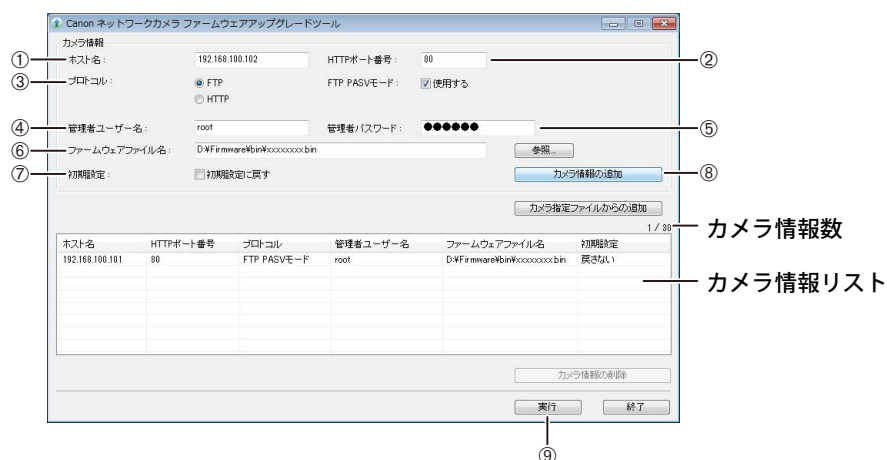
2.2. カメラの指定方法

ファームアップするカメラの指定には、以下の2とおりの方法があります。

- ① [カメラ情報入力画面] から1台ずつカメラ情報を入力し実行する方法 (P. 5)
- ② 「カメラ指定ファイル」からカメラ情報を読み込み実行する方法 (P. 7)

2.3. [カメラ情報入力画面] から1台ずつカメラ情報を入力し実行する方法

カメラ情報入力画面から、カメラ情報を入力します。



ホスト名	HTTPポート番号	プロトコル	管理者ユーザー名	ファームウェアファイル名	初期設定
192.168.100.102	80	FTP PASVモード	root	D:\Firmware\bin\kxxxxxxx.bin	戻さない

- ① **ホスト名**
カメラのホスト名、または、IPアドレスを入力します。
- ② **HTTPポート番号 (デフォルト：80)**
カメラのHTTPポート番号を入力します。
- ③ **プロトコル (デフォルト：FTP、FTP PASVモード使用)**
接続方法を[FTP]、[HTTP]から選択します。
[FTP]を選択した場合、[FTP PASVモード]の使用/不使用を指定します。
VB-C60/VB-C500の場合は、[FTP]を選択してください。
- ④ **管理者ユーザー名 (デフォルト：root)**
カメラの管理者ユーザー名を入力します。

⑤ 管理者パスワード

カメラの管理者パスワードを入力します。

⑥ ファームウェアファイル名

更新するファームウェアファイルの名称を**絶対パス**で入力します。

[参照] ボタンをクリックすると、ファイル保存ダイアログからファイルの選択ができます。

⑦ 初期設定 (デフォルト：チェックなし)

アップグレード終了後に初期設定に戻す／戻さないを指定します。

⑧ カメラ情報の追加

[カメラ情報の追加] ボタンをクリックし、①～⑦で入力したカメラ情報をカメラ情報リストに登録します。

メモ

- ホスト名にはIPv6アドレスを指定することもできます。
- 「カメラ情報」は最大で30台分まで追加できます。追加された「カメラ情報数」は、画面中央の右側に表示されます。

例) 5 / 30 . . . 5台のカメラ情報が登録されている状態 (最大30台まで)

⑨ 実行

[実行] ボタンをクリックし、ファームアップを実行します。

Canon ネットワークカメラ ファームウェアアップグレードツール

カメラ情報
 ホスト名: 192.168.100.102 HTTPポート番号: 80
 プロトコル: ☒ FTP ☐ HTTP FTP PASVモード: ☒ 使用する
 管理者ユーザー名: root 管理者パスワード: ●●●●●●
 ファームウェアファイル名: D:\Firmware\bin\kxxxxxxx.bin [参照]
 初期設定: ☐ 初期設定に戻す [カメラ情報の追加]
 [カメラ指定ファイルからの追加]

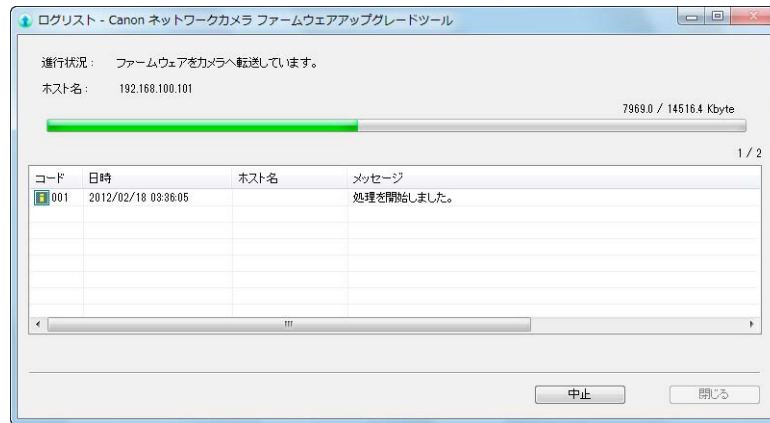
ホスト名	HTTPポート番号	プロトコル	管理者ユーザー名	ファームウェアファイル名	初期設定
192.168.100.101	80	FTP PASVモード	root	D:\Firmware\bin\kxxxxxxx.bin	戻さない
192.168.100.102	80	FTP PASVモード	root	D:\Firmware\bin\kxxxxxxx.bin	戻さない

[カメラ情報の削除] [実行] [終了]

メモ

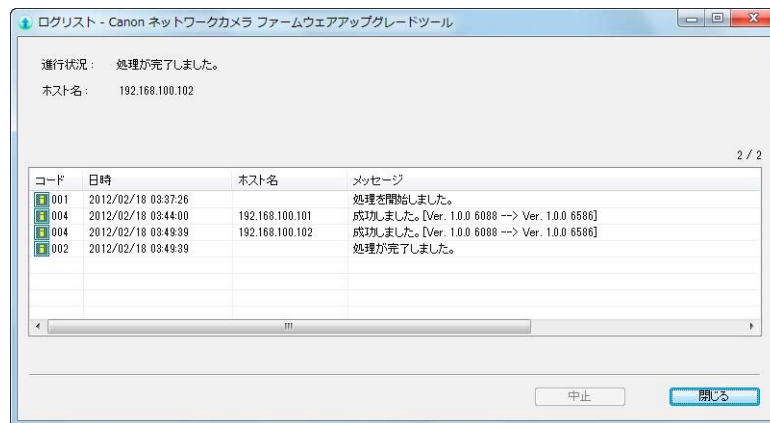
- 複数台のカメラのファームアップを行う際は、①～⑧の操作を繰り返し行ってください。
- 台数が多い場合には、「カメラ指定ファイル」からカメラ情報を読み込み実行する方法が便利です。「カメラ指定ファイル」によるファームアップについては、「2.4.「カメラ指定ファイル」からカメラ情報を読み込み実行する方法」(P. 7)を参照してください。

ファームアップの処理状況がダイアログ表示され、終了するとカメラが再起動します。



ファームアップ処理が終了すると、処理結果のログがダイアログに表示されます。

複数台のカメラを一括してファームアップする場合、1台のカメラのファームアップが終了するごとに、処理結果がログとして表示されます。

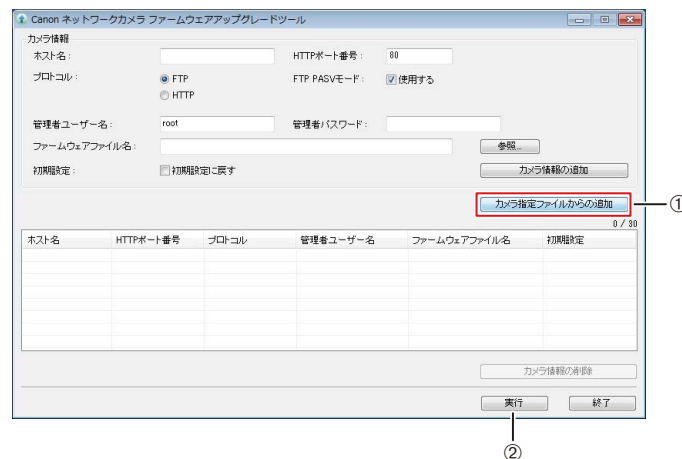


ログ表示の詳細については、「2.6. ログの表示と保存」を参照ください。(P. 12)

2.4. 「カメラ指定ファイル」からカメラ情報を読み込み実行する方法

複数台のカメラのファームアップを一括して行う場合は、この方法が便利です。

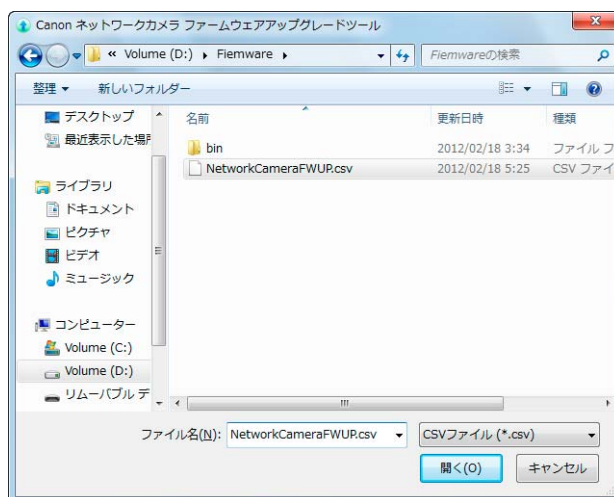
[カメラ指定ファイルからの追加] ボタンで、カメラ情報を追加します。



① カメラ指定ファイルからの追加

カメラ指定ファイルは、ファームアップしたいカメラのカメラ情報を、CSV形式ファイルで作成したものです。
カメラ指定ファイルは、事前に作成しておく必要があります。(P. 9)

画面上の [カメラ指定ファイルからの追加] ボタンをクリックし、作成したファイルを選択すると、カメラ情報を読み込み、カメラ情報リストに追加できます。



- カメラ指定ファイルは、以下の情報を順番どおり記述し、CSV形式で作成します。

項 目	説 明	備 考
① ホスト名	カメラのホスト名またはIPアドレス	必須入力事項
② ユーザー名	カメラの管理者ユーザー名	省略時: root
③ パスワード	カメラの管理者パスワード	必須入力項目 [デフォルト] VB-C60/B→VB-C60 上記以外のカメラ→camera
④ ファームウェアファイル名	更新するファームウェアファイル名 (絶対パス)	必須入力事項
⑤ HTTPポート番号	カメラのHTTPポート番号	省略時: 80
⑥ FTP PASVモード	FTP PASVモードの使用/不使用フラグ 0: 使用しない 1: 使用する	省略時: 1 (使用する) プロトコルで「HTTP」を指定した場合は無効
⑦ 初期設定	初期設定に戻す/戻さないフラグ 0: 戻さない 1: 戻す	省略時: 0 (戻さない)
⑧ プロトコル	接続方法 FTP/HTTP 指定フラグ 0: FTP 1: HTTP	省略時: 0 (FTP)

カメラ指定ファイルの作成例

- 1行目に、ヘッダーとして「ツール名称」、「ファイルフォーマットバージョン (Ver.1.0)」、2行目以降に、1行に1台のカメラ情報を記述します。

<Excelによる記述例>

ツール名称		ファイルフォーマットバージョン		④ファームウェアファイル名		⑥FTP PASVモード		⑧プロトコル	
A		B		C		D		E	
1	NetworkCameraFWUP	Ver.1.0							
2	192.168.100.101	root	camera	D:\Firmware\bin\xxxxxxxxx.bin	80	1	0	0	

①ホスト名 ②ユーザー名 ③パスワード ⑤HTTPポート番号 ⑦初期設定 ⑧プロトコル

- 数値は10進数で記述してください。
ホスト名のIPアドレス (IPv4)、HTTPポート番号、FTP PASVモード指定、初期設定、プロトコルは必ず10進数の数値で記述してください。文字や16進数などで記述した場合、すべてのカメラ情報をカメラ情報リストに追加しません。
- カメラ情報は最大で30台分まで、追加が可能です。
すでに追加されているカメラ情報を含め、カメラ指定ファイルから追加するカメラ情報が30台分を超える場合、カメラ指定ファイルの読み込み処理は行われません。
- カメラ情報の省略
「ホスト名」、「パスワード」、「ファームウェアファイル名」以外の項目は省略できる場合があります。省略時の情報は、P. 8の表をご参照ください。
「ホスト名」、「パスワード」、「ファームウェアファイル名」の記述がない場合は、カメラ指定ファイルの読み込み処理が行われません。

重要

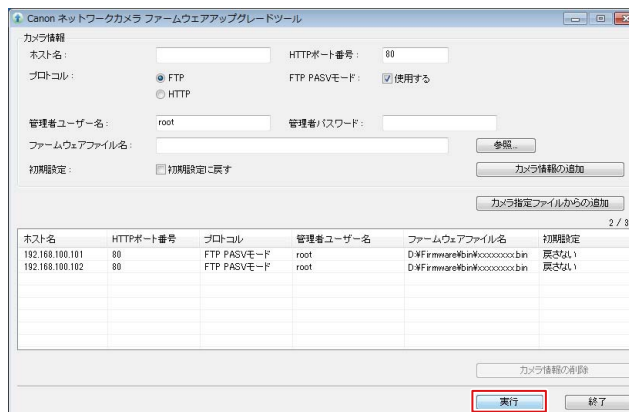
- カメラ指定ファイルには、管理者パスワードの記述が必要です。データの取り扱いに十分ご注意ください。
- カメラ指定ファイルの記述内容がカンマ以外で区切られている場合、または記述内容に空の行が含まれている場合は、カメラ指定ファイルの読み込み処理は行われません。

メモ

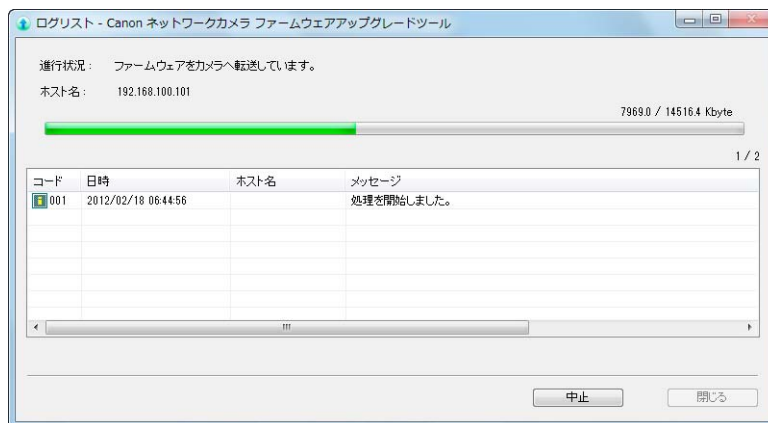
- Excelを使ってカメラ指定ファイルを作成する場合、保存の際に「CSV(カンマ区切り) (*.csv)」を選択してください。
- メモ帳などエディターを使ってカメラ指定ファイルを作成する場合は、ファイルの拡張子をcsvに指定してください。

② 実行

[実行] ボタンをクリックし、ファームアップを実行します。



ファームアップの処理状況がダイアログ表示され、終了するとカメラが再起動します。

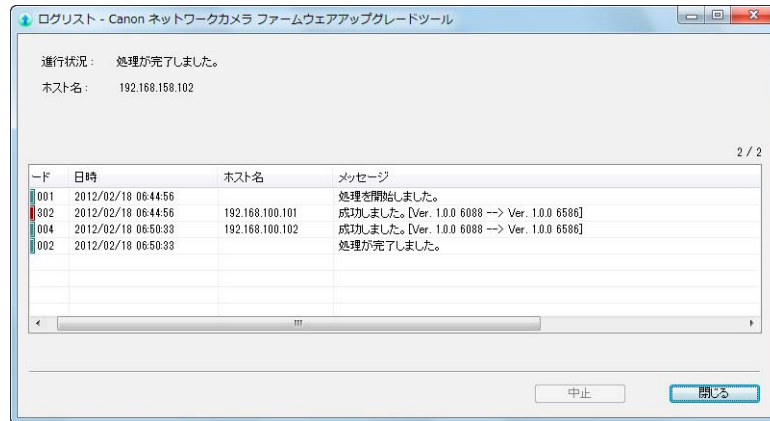


メモ

ファームアップ終了後にカメラにアクセスしても、カメラに内蔵されているビューワー、または設定ページの内容が更新されない場合は、Internet Explorerのインターネットオプションを開き、インターネット一時ファイルの削除をしてください。

ファームアップ処理が終了すると、処理結果のログがダイアログに表示されます。

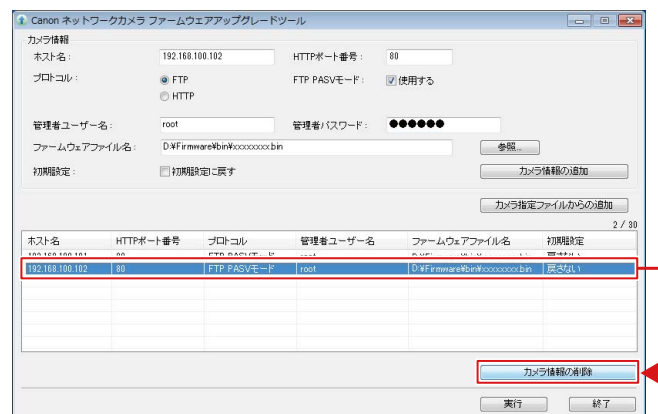
複数台のカメラを一括してファームアップする場合、1台のカメラのファームアップが終了するごとに、処理結果がログとして表示されます。



ログ表示の詳細については、「2.6. ログの表示と保存」を参照ください。(P. 12)

2.5. カメラ情報の削除

カメラ情報リストから削除するカメラ情報を選択し、[カメラ情報の削除] ボタンをクリックします。

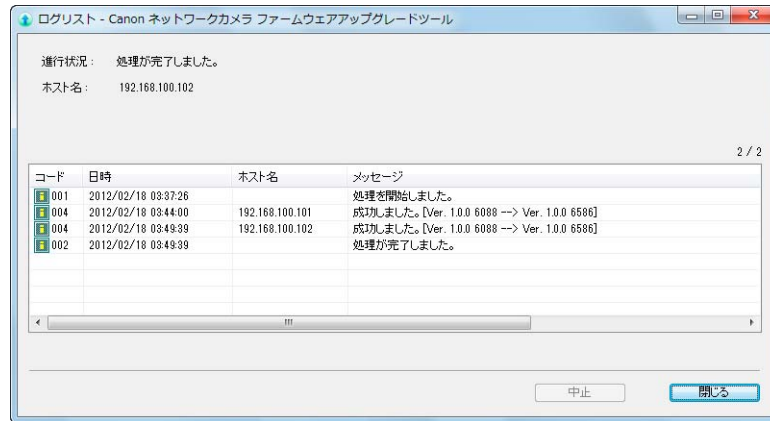


2.6. ログの表示と保存

ファームアップを実行すると、処理結果がログリストとして表示され、ログファイルが自動的に保存されます。

ログファイルは、ファームアップツールの実行ファイル「NetworkCameraFWUP.exe」が保存されているフォルダに自動的に保存されます。

ログファイルは、ファイル名「NetworkCameraFWUP.log」で保存されます。



メモ

- すでにログファイルが存在する場合は、ログ情報が追記されます。
- ログの自動保存ができなかった場合は、ログファイルを手動で保存できます。ログリスト画面上に [保存] ボタンが表示されるので、クリックして表示される画面でログファイルの名前と保存先フォルダを指定してください。

2.7. ファームアップツールのバージョン情報

ファームアップツール画面左上のアイコンをクリックするとメニューが表示されます。

表示されたメニューから [Canon ネットワークカメラ ファームウェアアップグレードツールについて] を選択すると、バージョン情報ダイアログが表示され、バージョン情報を確認できます。

メモ

バージョン情報は、カメラ情報入力画面からのみ表示可能です。

3. メッセージ一覧

3.1. メッセージ一覧

メッセージコードの百の位には、以下の意味があります。

コード	説明
000番台	情報メッセージ
100番台	パラメーターエラー (カメラ情報入力ミス、カメラ指定ファイルの指定ミスなど)
200番台	機種・バージョン情報エラー (動作対象外機種、バージョンエラーなど)
300番台	通信系エラー
400番台	ファイルエラー

3.2. エラーメッセージ

コード	メッセージ	説明
107	ファームウェアファイル名を指定してください。	ファームウェアファイルを指定していない場合に表示されます。
110	「FTP PASVモード」フラグの値を正しく指定してください。	FTP PASVモードフラグの値に0、1以外の数値を指定している場合に表示されます。
112	初期設定フラグの値を正しく指定してください。	カメラ指定ファイルで不正な初期設定フラグの値が指定された場合に表示されます。
120	カメラ情報の最大数を超えるため、カメラ情報を追加できません。	カメラ情報リストに31台以上のカメラ情報を追加しようとした場合に表示されます。
202	指定されたファームウェアファイルは形式が不正であるか、または、ファイルの内容が壊れています。	不正なファームウェアが指定された場合に表示されます。
204	指定されたファームウェアファイルのバージョンが、現在カメラにインストールされているファームウェアと同じか、または、古いバージョンのためインストールできません。	同一バージョンまたは古いバージョンのファームウェアファイルが指定された場合に表示されます。
206	指定されたファームウェアファイルはこのカメラ用のものではないためアップグレードに使用できません。	ファームウェアファイルの機種名と接続したカメラの機種名が一致していない場合に表示されます。
210	サービス窓口にお問い合わせください。	何らかの原因でファームウェアアップグレードの処理ができなかった場合に表示されます。
214	サービス窓口にお問い合わせください。	デバッグモードの切り替えに失敗し、ファームウェアアップグレード処理が中断された場合に表示されます。
215	サービス窓口にお問い合わせください。	画像キャプチャ、Upload機能の停止処理に失敗し、ファームウェアアップグレード処理が中断された場合に表示されます。
301	カメラに接続できませんでした。	通信相手が見つからない、通信が異常、通信が拒否された、タイムアウトなど、通信が失敗した際、または、VB-C60/VB-C500でHTTP接続が指定された場合に表示されます。

コード	メッセージ	説明
303	ファームウェアの転送に失敗しました。ファームウェアアップグレード状態を終了するためにカメラを再起動します。数分待ってから再度操作を行ってください。	ファームウェアの転送中に通信エラーなどが発生した場合に表示され、カメラが自動的に再起動します。
309	ファームウェアのアップグレードが正常に終了しませんでした。カメラのファームウェアが破壊された可能性があります。10分ほど待ってもアクセスできない場合は、サービス窓口にお問い合わせください。	再起動後の接続確認に失敗した場合に表示されます。
310	指定したカメラは他のクライアントによってファームウェアアップグレード処理を行っているか、前回のアップグレード処理が正常に終了していない可能性があります。数分待ってから再度操作を行ってください。	他のPCでファームウェアアップグレード処理を行っている、または、前回のファームウェアアップグレードのセッションが終了していない場合に表示されます。
313	指定されたカメラを初期設定に戻すことができませんでした。数分待ってもアクセスできない場合は、サービス窓口にお問い合わせください。	ファームウェアアップグレード処理後の初期設定リセット処理で正常に再起動できなかった場合に表示されます。
406	指定されたファームウェアファイルが見つかりません。	ファームウェアファイルが存在しない、または、禁止文字 (「¥ / ? : * " > < 」および新文字コード (第三水準漢字など)) を使用したファイルパスを指定した場合に表示されます。
408	カメラ指定ファイルの読み込みに失敗しました。カメラ指定ファイルをご確認ください。	カメラ指定ファイルのフォーマットが正しくない、読み込み禁止ファイルになっているなど、ファイルに異常がある場合に表示されます。
413	指定されたカメラ指定ファイルのバージョンが異なるため、このファームウェアアップグレードツールでは使用できません。	カメラ指定ファイルのバージョンが、本ツールの対応可能なバージョンと一致していない場合に表示されます。
414	ファイルにアクセスできません。別のプロセスが使用中です。	別のプロセスによって使用中のカメラ指定ファイルを読み込んだ時に表示されます。
—	ログファイルが保存されていません。ファームウェアアップグレードを開始しますか？	ログファイルの自動保存に失敗し、ログファイルが保存されていない、かつ、ログ画面を閉じていない場合に、カメラ情報入力画面の [実行] ボタンをクリックすると表示されます。
—	ログファイルが保存されていません。ログ画面を閉じてよろしいですか？	ログファイルの自動保存に失敗し、かつ、ログファイルが保存されていない場合に、ログ画面の [閉じる] ボタンをクリックすると表示されます。

